

ぴぼっと通信

発行日：2026. 9. 20 VOL282

発行者：今関 和美 編集：呉



少しずつ秋らしい風を感じるようになり秋の気配を感じるようになってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

秋といえば「食欲の秋」。そこで食べ物話題をひとつ。岐阜県にある恵那川上屋さんで初夏になると売られるのが「大岩魚」。写真にあるように「若鮎」（鮎菓子）を約3倍に大きくしたお菓子が体長約40cmになります！中には小豆つぶ餡と餅だけではなく、川上屋さんと言えば栗。丸ごと栗の甘露煮が入っています！



年に一度だけ売られるこの商品。通販で和菓子の贈り物を探していた時に偶然見つけてしまい、「これは！？」とポチりました。通販で限定「100匹」！！ぴぼっとで捌いて美味しくいただきました。

興味がある方は来年の7月下旬以降にチェックしてみてください。(呉)



今月の
ぴぼっと
通信は・・・

①『社会館バザー』開催のお知らせ

②9月8日の記録的豪雨を振り返って
～名古屋市貯水対策と私たちの備え～

①『社会館バザー』開催のお知らせ

11月21日(土)に決定！！

例年、23日の勤労感謝の日におこなっていましたが、今年は21日(土)に開催することが決定しました。詳細については、また次回のぴぼっと通信にてお知らせさせていただきます。(呉)



②9月8日の記録的豪雨を振り返って

～名古屋市の貯水対策と私たちの備え～

先日の9月8日、名古屋を襲った突然の大雨では皆様お怪我やご自宅の被害などはございませんでしたでしょうか。今月の通信では、あの日の大雨を振り返り、名古屋市の取り組みや家庭での備えについてお伝えします。

■ 実際に起きたこと ～観測史上最大の雨と都市型水害～

9月8日夕方、名古屋市では1時間に104.5ミリという統計開始以来最大の猛烈な雨を観測しました。通常の排水計画(63ミリ/h)を大幅に超えたため雨水があふれる「内水氾濫」が発生し、各地で道路冠水、アンダーパスの水没、地下鉄やバスの運転見合わせ、庄内川での氾濫特別警報など甚大な影響が出ました。

■ 名古屋市の治水・貯水対策 ～大雨を受け止める仕組み～

名古屋市では、過去の水害を教訓に「雨水を一時的に貯めて溢れを防ぐ」インフラ整備を進めています。

【名古屋市の主な貯水・雨水流出抑制の取り組み】

- ・ 雨水貯留施設(雨水調整池)の整備:市内に100箇所以上設置され、約89万 m^3 (プール約3,500杯分)の雨水を貯留可能。名駅地下や地下50mを超える「名古屋中央雨水調整池」など巨大貯水施設の建設・整備が継続されています。
- ・ 家庭向け雨水流出抑制助成制度:家庭への雨水流入を減らし街全体で水を受け止めるため、名古屋市では「雨水タンク」や「浸透雨水ます」の設置費用の助成制度(費用の2/3、上限最大3万円等)を実施しています。

■ 障害福祉の現場から見た課題

今回のような都市型水害は短時間で急激に悪化するため、配慮が必要な方の避難行動には困難が伴います。当施設では大きな被害はありませんでしたが、いざという時の安全確認と支援継続の迅速化が大きな課題であると改めて痛感いたしました。

■ 命を守るために ～ご家庭での3つの備え～

急な大雨や災害から身を守るために、ご家庭でもぜひ以下の備えをお願いいたします。

1. 無理な移動をしない。

増水した道路やアンダーパスへの移動は大変危険です。水没の危険がある場合は建物の2階以上へ垂直避難してください。

2. 名古屋市防災アプリ

ます。近くのハザードマップや避難施設を調べるたり、災害時に助けを求める緊急ブザーの機能、要配慮者向け避難支援機能が搭載されています。ぜひ導入をご検討ください。

3. 電源助成&貯水助成

医療機器等の非常用電源助成に加え、前述の雨水タンク設置助成も活用し、停電・雨水対策の準備をご検討ください。

「名古屋市防災アプリ」の詳しい情報については名古屋市のホームページをご覧ください。(呉)

連絡先

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 生活支援センターぴぼっと

住 所 : 〒457-0804 南区源兵衛町5-18-10

電 話 : 052-613-1306

F A X : 052-746-0873

緊急連絡先 : 090-7865-8518

(p i b b o t - 1 2 2 5 . n c s @ d o c o m o . n e . j p)